

■放課後等デイサービス職員自己評価集計(2021年度)

回答数: 6件

	チェック項目	○	△	×
環境	1 利用定員と指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6		
	2 職員の配置数は適切であるか	4	2	
	3 事業所の設備等はバリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	3
業務改善	4 業務改善のためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	3	3	
	5 保護者アンケート等を実施して保護者の意向を把握し、業務改善につなげているか	4	2	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を分析し、支援計画を作成しているか	6		
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		
	12 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	5	1	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	2	4	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせてサービス計画を作成しているか	5	1	
	15 支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、その日の支援内容や役割分担を確認しているか	4	1	1
	16 支援終了後、職員間で打ち合わせをし、支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか		4	2
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1	1
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	1		
関係機関・保護者との連携	20 相談支援事業所のサービス担当者会議に、子どもの状況に精通した者が参画しているか	3	1	1
	21 学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	4	1	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合、主治医等との連絡体制を整えているか		5	
	23 就学前に利用していた保育園・幼稚園・児童発達支援事業所との情報共有に努めているか	1	3	1
	24 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか		4	1
	25 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		3	2
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	3
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	3	1
	28 日頃から保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1	
29 保護者に対して、ペアレントトレーニング等の支援を行っているか	1	3	1	
保護者への説明責任	30 運営規程、支援内容、利用者負担等について、丁寧な説明を行っているか	4	1	
	31 子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催したりして、保護者同士の連携を支援しているか	3		2
	33 苦情への対応の体制を整備するとともに、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定等の情報を発信しているか	6		
	35 個人情報に十分注意しているか	4	2	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等、開かれた事業運営を図っているか		1	5	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し周知しているか	4	2	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2	
	41 どのような場合に身体拘束するかについて組織的に決定し、了解を得た上で計画に記載しているか	2	3	1
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	2	3	1
	43 ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか	5		1